

科目名	臨床心理学							年度	2026
英語科目名	Clinical Psychology							学期	前期
学科・学年	鍼灸科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	寺崎馨章	教員の実務経験		有	実務経験の職種		公認心理師、臨床心理士		
【科目の目的】 患者とのコミュニケーションに必要な心理的背景を理解するため、心理的の基礎を学ぶ。									
【科目の概要】 心理学、精神医学の観点からメンタルヘルスについての概論的知識を得るとともに、自身の健康についても考察できるようにする。体験的なワークも交え、他者とのコミュニケーションについても視野を広げる。									
【到達目標】 A：心理学の観点から、一般的な人の傾向を知ることができる。 B：精神医学の観点から、メンタルヘルスについて概論的知識を得ることができる。 C：自身、他者の健康の維持・増進について考察できるようになる。 D：コミュニケーションに関わる視野を広げ、考察できるようになる。 E：人と人の関わりは相対的、相互作用的である（正解が1つでない）ことを学ぶ。									
【授業の注意点】 授業日数の4分の3以上出席しないと、定期試験が受けられない。定期試験、課題提出、出席状況から成績評価する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	講義内容の概要を、他者に説明できる	講義内容を理解できる	講義内容をおおむね理解し、わからない点を質問できる	講義内容をおおむね理解するが、わからないことをそのままにする	講義内容がわからないが、理解するための取り組みをしない。				
到達目標 B	講義内容の概要を、他者に説明できる	講義内容を理解できる	講義内容をおおむね理解し、わからない点を質問できる	講義内容をおおむね理解するが、わからないことをそのままにする	講義内容がわからないが、理解するための取り組みをしない。				
到達目標 C	学んだ内容を日常に結びつけて考察できる	講義内容を理解できる	講義内容をおおむね理解し、わからない点を質問できる	講義内容をおおむね理解するが、わからないことをそのままにする	講義内容がわからないが、理解するための取り組みをしない。				
到達目標 D	学んだ内容を日常に結びつけて考察できる	講義内容を理解できる	講義内容をおおむね理解し、わからない点を質問できる	講義内容をおおむね理解するが、わからないことをそのままにする	講義内容がわからないが、理解するための取り組みをしない。				
到達目標 E	学んだ内容を日常に結びつけて考察できる	講義内容を理解できる	講義内容をおおむね理解し、わからない点を質問できる	講義内容をおおむね理解するが、わからないことをそのままにする	講義内容がわからないが、理解するための取り組みをしない。				
【教科書】 指定教科書はなく、配布資料に基づき授業を展開する。「公衆衛生学」などの精神医学関連ページを参照（授業に持参する必要はなし）。									
【参考資料】 「DSM-5 精神疾患の診断・統計マニュアル」（医学書院）ほか									
【成績の評価方法・評価基準】 定期試験(筆記)、提出物、出席点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		臨床心理学			年度	2026
英語表記		Clinical Psychology			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション、心理学とは？	心理学の歴史、応用分野を知る	1 心理学の歴史に触れる	心理学が「心」を説明する分野であることを知る	1	
			2 応用心理学を知る	心理学の活用例を知る		
			3 体験学習をする	グループエンカウンターを体験する		
2	認知	言語、思考も外界との関わりの中で獲得することを知る	1 五感について知る	人の視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の特性を知る	1	
			2 錯覚、ゲシュタルト	人の感覚が目的的であることを知る		
			3 応用を知る	認知特性に合わせた情報提示の例を知る		
3	学習と本能/発達	人の成長、発達について知る	1 動物行動学	生得的行動(本能)、獲得的行動(学習)について知る	1	
			2 実験心理学	「条件づけ」等の話題から、人の学習について知る		
			3 発達段階、生涯発達	人間の発達、発達段階について知る		
4	疾患と障害	疾患と障害の概念を知る。具体例として認知障害、物質関連障害を知る	1 疾患と障害	疾患、障害について知る	1	
			2 神経認知障害	認知障害、せん妄などについて知る		
			3 物質関連障害	物質関連障害について知る		
5	意識と無意識	意識・無意識のバランス、関連する障害について知る	1 無意識	意識と無意識について知る	1	
			2 防衛機制	防衛機制について知る		
			3 解離性障害	解離性障害について知る		
6	パーソナリティと知能	パーソナリティ、知能、それらを測定する心理検査について知る	1 心理検査	心理検査について知る	1	
			2 知能	知能について知る		
			3 パーソナリティ	パーソナリティについて知る		
7	ストレス/スポーツトレーニング	ストレスとコーピングについて知る	1 ストレス	ストレスについて知る	1	
			2 コーピング(対処法)	対処法について知る		
			3 ストレス関連障害	ストレス関連障害について知る		
8	統合失調症①	統合失調症の概要について知る	1 概要	100人に1人と言われる身近な疾患であることを知る	1	
			2 症状を知る	幻覚、妄想など、特有の症状について知る		
			3 体験的理解	個人作業のワークで体験的に理解する		
9	統合失調症②	薬物療法、法令について知る	1 治療について知る	神経伝達物質、向精神薬、抗精神病薬などを知る	1	
			2 精神科診療	法律の変化、医療の変化について知る		
			3 法令	メンタルヘルスに関わる法令を知る		
10	抑うつ障害、双極性障害	抑うつ障害、双極性障害を知る	1 抑うつ障害	鬱(うつ)について知る	1	
			2 双極性障害	躁(そう)と鬱(うつ)を経験する双極性障害について知る		
			3 予防、治療	早期発見、治療、予防について知る		
11	不安障害	不安障害、強迫性障害について知る	1 恐怖と不安について	恐怖、不安などの反応について知る	1	
			2 不安障害	不安障害とその対処について知る		
			3 強迫性障害	強迫性障害とその対処について知る		
12	身体症状症	身体症状症について知る	1 概念	身体症状症、心身医学について知る	1	
			2 リラクゼーション	自律訓練法などを含め対処について知る		
			3 作為症、詐病	詐病のような関連する事柄を知る		
13	摂食障害、睡眠障害	万人に関わる食事と睡眠、関連した障害群について知る	1 摂食障害	摂食障害について知る	1	
			2 睡眠障害	睡眠障害について知る		
			3 基準、必要量	食事、睡眠について知る		
14	カウンセリング、心理療法	心理療法を知るとともに、日常の対話への応用も考える	1 個人療法概説	カウンセリング、心理療法について概説	1	
			2 集団、コミュニティ	家族療法、コミュニティ心理学などの視点を知る		
			3 体験的ワーク	ペアワーク等で、エッセンスを体験する		
15	総括	メンタルヘルス、コミュニケーションについて総括する	1 対話時の留意事項	対話、面談時に話題になる事柄を整理	1	
			2 総括	メンタルヘルスに関して総括		
			3 総括的なワーク	相談場面に活用できるワーク		

評価方法：1. 提出課題および、ワークへの参加状況、 2. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等